

日本福音キリスト教会連合

宗教法人

甲府キリスト福音教会

# 週報

Vol. 67 No. 1 2021/1/3

- 牧師 松村 識
- 山梨県甲府市武田3-17-4
- TEL/FAX 055-253-4560 ●郵便振替 00400-8-4105
- http://kofu.church.jp ●e-mail kofucgc@ybb.ne.jp

神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。ローマ8:28

## ■礼拝順序

司会者 田中貴吏兄  
 奏楽者 渡邊周美姉  
 礼拝当番(下) 中村直美姉  
 音響・録音 富岡稔雄兄

前奏		
招詞	哀歌3:25-26	旧 p.1408
*讃美	教会福音讃美歌505番	
*交読	詩篇100篇	旧 p.1004
*信仰告白	教会信仰告白 第6条	
*開祷		司会者
祈り		松村 識師
聖書	ローマ8:18-25	新 p.21
黙想		
宣教	「栄光を待ち望む」	松村 識師
聖餐式	教会福音讃美歌 259番	
讃美	教会福音讃美歌 353番	
感謝		中村直美姉
献金	教会福音讃美歌 452番	
報告		
*頌栄	教会福音讃美歌 271番	
*祝祷		松村 識師
*後奏		

\*印はご起立願います。体のご不自由な方はそのままどうぞ。

## ●報告・祈り

- 1. 本日は一年最初の主日礼拝です。今年も一年52週、欠けることなく主にお献げしましょう。
- 2. 本日は聖餐式をしました。主の贖いの恵みを覚えてこの年、この月を過ごしましょう。
- 3. 2021年のみことばの光の通読計画表があります。お持ちください。
- 4. 今月の役員会は次週午後に行います。
- 5. 成人の日に学ぶ結婚家庭セミナーがオンラインで行われます。講師 城間創・佑紀夫妻（たまプラーザキリスト教会ユースアドバイザー、キリスト者学生会主事）テーマ：「結婚の祝福はどこにあるのか？」案内を別途メールリングリストにてお送りしました。青年兄姉はぜひご参加ください。
- 6. 教会一致懇談会の連夜祈祷会は中止ですが、一日のみ、23日（土）14:00より愛宕町教会、甲府教会、カトリック教会の3会場分散で行われます。

## ●次週礼拝予定

聖書箇所ローマ8:26-37、宣教題「すべてのことが益とされる」、交読文詩篇71篇、讃美41、-, 405、献金 452、頌栄 271

## ●奉仕案内（主日奉仕は次週のものです）

礼拝司会者	田中貴吏兄
礼拝当番上	-
下	古屋恭子姉
掃除当番	黒田創兄 加藤美樹姉
水曜聖研	松村牧師 イザヤ56章
奏楽者	志村泉兄
証し	-
週報印刷	石山堅持兄
食事当番	- -
看板当番	坂野喜好子姉
生花当番	加藤美樹姉
音響・スライド	中原一真兄
スライド作成	金光正兄

## ●今週/今後の予定

- 1/10（日）  
役員会
- 1/11（月）  
成人の日に学ぶ結婚家庭セミナー  
（オンライン）

## ●先週の集会

	早天	主日	夕拝	小人	祈祷会
男	1	19	-	3	-
女	4	31	-	4	-
合計	5	50	0	7	-
CS	6				
その他	主日礼拝は会堂1F男2、女4,2F男8、女9、ライブ配信接続26、元旦礼拝男6、女5、子ども2、オンライン接続22				

## ● 重荷を下ろして

～先週の宣教要旨～

マタイ11:28-30

今年は、あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です。(1コリ12:27)のみことばを掲げて歩みを始めました。教会の交わりが愛と一致に建て上げられることを願っています。ところが、コロナのために集まることすらできない状況が続き、皆、疲れや重荷を負っています。

ここに疲れと訳されていることばは、労苦とも訳されますが、私たちの疲れの原因は様々です。からだの疲れがあるでしょう。子育てに奮闘中の若い兄妹、仕事に追われる兄妹、老いの弱さを感じるようになった兄妹もおられることでしょう。病を負うこともあります。肉体には限りがあるのです。また、心の疲れ。その多くは赦せない重荷です。また、押し殺した感情、つぶされそうになるような圧迫。罪深い人間が互いの間に抱える闇です。そして、霊的な疲れ。預言者エリヤはカルメル山でバアルの神々と対決して力強く勝利をした後に疲れに襲われます。無気力、徒労感、孤立感を覚え、負いきれない重荷にあえぎます。

イエス様は「わたしは心が柔和でへりくだっているから、わたしのくびきを負って」と言われます。前の訳では「心優しく」と訳されていました。同じ語は同じ訳を当てる原則をあえて「心優しく」と訳していました。日本語では「やさし」は「やせる」と共通の語源を持つと言われます。やさしいとは、やせる思いで、自分の身を削って相手のために尽くすことです。十字架でいのちを削って、いやお捨てになられた。そのようにイエス様は心優しく自分を捨てるへりくだられたということです。

そのイエス様のくびき、それは「負いやしく、荷は軽い」と言います。それは、イエス様にくびきを委ねているからです。自分では負いきれない重荷です。そこに重荷を下ろして心軽くし、平安をいただき、新しい年を迎える備えをしましょう。

## ● イエスの恵みは注がれている

～今週の声～

子どもたちに誘われて、精進湖に日の出を見に行きました。真っ暗な甲府を出て湖に着くと、すでに日の出を待つ人たちが大勢カメラを構えていました。徐々に白んでいく空、そして、山際がオレンジ色になり始めると、富士山の頂上から順に陽が当たり始め、やがて陽が昇ってきました。それと同時に待っている間に冷え切った体に温かな光が差し込んできました。

最後に日の出を見たのはいつのことだったか。毎日、いや、何年、何十年、何百年、何千年と同じように、地球は巡り、たとえ曇っていたとしても、太陽はこの地上に光と熱を届けてきました。そして、誰でも例外なく、その恵みを受け取れるのです。

「夜が明け始めていたころ、イエスは岸辺に立たれた。」(ヨハネ21:4)。これは、イエス様の十字架と復活の後でのガリラヤ湖です。弟子たちはもとの生業である漁にでますが、夜通し働いても何もとれませんでした。そこに、イエス様は「舟の右側に網を打ちなさい。そうすれば捕れます。」と声をかけます。その通りに網を下ろすと、引き揚げられない魚がかかり、その瞬間、ペテロはイエス様だとわかって、湖に飛び込みます。イエス様は炭火を起こして「さあ、朝の食事をしなさい」と弟子たちを招いてくださいました。そして、その後、ペテロに「あなたは私を愛するか」と三度尋ねるのです。

イエス様の恵みは誰にでも例外なく注がれています。しかし、それを受け取るかどうかは応答次第です。ペテロは自分にはその資格がないと感じていましたが、イエス様は一度ならず三度も尋ねてくださったのです。イエス様は、この年、様々な出来事の中に私たちが埋もれてしまうとき、イエス様を見失ってしまいそうになるとき、暗闇の徒労を続けるようなとき、いつも恵みへと招いてくださいます。その声を喜び迎える歩みをともにしてまいりましょう。

## ●聖書日課～みことばの光質問より～

### ●1/4 (月) 民数記 1:1-29

民がエジプトの国を出て2年目の第二月の一

(1)、これまで、エジプトから出て、進み行く備えの時であったところから、さらに前身のための備えを始めるところです。エジプトに散っていた彼らは組織もされていないところ、その調査から始めます。今を確認することです。あなたの今、どのように自分自身、あるいは家族を認識しているでしょうか。

### ●1/5 (火) 民数記 1:30-54

数え登録された民、これは主の命じられたことで、彼らはその通りにします (54)。その中でもレビ人だけは特別の務めを委ねられます。それは何のため、そして私たちにとってどのような意味があるのでしょうか。

### ●1/6 (水) 民数記 2章

2章はその数60万余の者たちが登録され、それが軍団として動くべく組織されました。これだけの人数の者たちが一つに動くということは簡単なことではありません。彼らの旗、それは目印でした。世も様々な旗のもとに動きまわります。私たちは何の旗のもとに行動するものなのでしょうか。

### ●1/7 (木) 民数記 3:1-13

レビ人の中でもアロンの子らが祭司の務めに任じられます。彼らはイスラエルの初子の代わりに聖なるものとして取り分けられます。神が選ばれたゆえの務め、その条件を考えてみましょう。

### ●1/8 (金) 民数記 3:14-39

続いてレビ人の務めが記されます。彼らは3つの氏族に応じて幕屋に関する務めを委ねられます。これらが命じられているのは、礼拝こそが彼らの最も大切にされるべきことだからです。

### ●1/9 (土) 民数記 3:40-51

「初子」をして全体を表す、そして、それはすべての民の贖いのため。贖われなければならないのは民全体であるのは、私たちに何を教えているのでしょうか。

### ●1/10 (日) 民数記 4:1-20

ケハテ族の務め、それは聖所の備えです。そのようにして聖所を整えることと私たちが礼拝のために整え奉仕することとどのような関わりがあるのでしょうか。

## ●定期集会案内

日曜日	
教会学校	9:00
早天礼拝	7:00
主日礼拝	10:30
水曜日	
第一祈り会	10:00
第二祈り会	19:30
土曜日	
マナの会 (聖書通読会)	10:00

## ●礼拝ガイド

- ・主日と礼拝を主に献げましょう。主日を献げることは一週間のすべてを献げて整えることです。
- ・礼拝は前奏から始まります。5分前には着席し、心を備え整えて礼拝を始めましょう。
- ・献金は神への感謝・献身のしるしです。あらかじめ用意をして備えましょう。ご用意のない方、わからない方はそのまま献金箱を次の方にお回しください。

## ●今週の祈り

P63-64 宣教教会、永福南キリスト教会、浜田山キリスト教会、つつじヶ丘キリスト教会



## 今週のみことば

ローマ8:25 私たちはまだ見ていないものを望んでいるのですから、忍耐して待ち望みます。



日本福音キリスト教会連合

宗教法人

甲府キリスト福音教会

# 週報

Vol. 67 No. 2 2021/1/10

- 牧師 松村 識
- 山梨県甲府市武田3-17-4
- TEL/FAX 055-253-4560 ●郵便振替 00400-8-4105
- http://kofu.church.jp ●e-mail kofucgc@ybb.ne.jp

神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。ローマ8:28

## ■礼拝順序

司会者 田中貴吏兄  
 奏楽者 金戊京姉  
 礼拝当番(下) 古屋恭子姉  
 音響・録音 中原一真兄

前奏		
招詞	詩篇55:22	旧 p.989
*讃美	教会福音讃美歌41番	
*交読	詩篇71篇	旧 p.1004
*信仰告白	教会信仰告白 第7条	
開禱		司会者
祈り		松村 識師
聖書	ローマ8:26-37	新 p.21
黙想		
宣教	「すべてのことが益とされる」	松村 識師
*讃美	教会福音讃美歌 405番	
感謝		古屋恭子姉
献金	教会福音讃美歌 452番	
報告		
*頌栄	教会福音讃美歌 271番	
*祝禱		松村 識師
*後奏		

祈禱会 (会堂・zoom)

\*印はご起立願います。体のご不自由な方はそのままどうぞ。

## ●報告・祈り

●1. 本日は礼拝後、会堂、zoomに別れて祈祷会を行います。参加くださり互いに祈り合いましょう。

●2. 本日は午後より役員会をします。次年度の計画等について話し合われます。その働きのためにお祈りください。

●3. 明日、成人の日に学ぶ結婚家庭セミナーがオンラインで行われます。講師城間創・佑紀夫妻（たまプラーザキリスト教会ユースアドバイザー、キリスト者学生会主事）テーマ：「結婚の祝福はどこにあるのか？」案内を別途メールリングリストにてお送りしました。青年兄弟はぜひご参加ください。

●4. 今週、12日（火）、西関東地区教職者会、全国運営委員会がそれぞれオンラインで持たれ、牧師は出席しません。

●5. 足立キリスト教会の宮村三郎師が5日（火）主のもとに召されました。長年透析生活を続けながらの働きを全うしました。ご家族と教会に慰めを祈りましょう。

●6. コロナウイルスの感染急拡大を受けて、再び緊急事態宣言が出、県内でも感染者が増えています。それぞれの歩みが守られること、また、終息に向けて、また、対応しておられる方々のために、また、世界のために祈りましょう。

## ●次週礼拝予定

聖書箇所創世記37:1-11、宣教題「良くも兄弟、悪くも兄弟」、交読文詩篇72篇、讚美40、-, 405、献金 452、頌栄 271

## ●奉仕案内（主日奉仕は次週のものです）

礼拝司会者	田中貴吏兄
礼拝当番上	-
下	中原一真兄
掃除当番	古屋恭子姉 中澤ひろ子姉
水曜聖研	川久保進兄 イザヤ57章
奏楽者	志村泉兄
証し	-
週報印刷	渡邊恵太兄
食事当番	-
看板当番	渡邊恵太兄
生花当番	鉢植え
音響・スライド	黒田創兄
スライド作成	金光正兄

## ●今週/今後の予定

### ●1/11（月）

成人の日に学ぶ結婚家庭セミナー  
（オンライン）

### ●1/12（火）

西関東地区教職者会（牧師 online）  
全国運営員会（牧師 online）

### ●1/23（土）

教会一致懇談会祈祷会（3会場）

### ●1/24（日）

信徒会

## ●先週の集会

	早天	主日	夕拝	小人	祈祷会
男	1	18	-	3	2
女	4	36	-	4	3
合計	5	54	0	7	5
CS	6				
その他	主日礼拝は会堂1F男1、女3,2F男7、女11、ライブ配信接続26				

## ● 栄光を待ち望む

～先週の宣教要旨～

ローマ8:18-25

新しい年を迎えて、みことばを掲げて前進したいと願っています。この箇所直前に、すでに「神の子とされた」こと、一方で、「子とされること、からだの贖い」を待ち望むと書かれています。確かに今、神の子とされていますが、救いの完成、天に迎えられる時との狭間を生きているのが私たちです。その私たちは今をどう生きるべきか問われているのです。

今、私たちは地上にあって、「なぜですか、いつまでですか」とうめいています。神が世界を造られたとき、それは「非常によかった」という素晴らしい世界でした。ところが、そこに罪が入り、神から離れたゆえに、いわば根のない木になってしまいました。根なしにいくら葉を茂らせようとしても、実を結ぼうとしても、すべてが「虚無」。そのような世に置かれています。しかし、やがて来るべき「栄光の自由」に入れられる。それは黙示録21章に描かれています。新しい天と新しい地。そこで涙が拭い去られ、すべてが新たに回復するのです。

信仰の先達たちは、その天の故郷を仰ぎ見、地上では旅人であり寄留者であることを告白していました。ヘブル11章には、ノアやアブラハム、イサク、ヤコブをはじめとする信仰者たちがみなそうだったと書かれています。彼らの歩みを読んでいくと、様々な地上での苦労、飢饉や争い、ウソや偽り、家族のトラブルや悩み。この世の生涯に点数を付けたらどうでしょう。あなたはどうか。赤点ばかりの失格者でしょう。しかし、彼らは天での栄光に光と希望を見続けたのです。

私たちも同じです。長いトンネルの向こうには出口があるから、その光が見えるからこそ進んでいけます。そして、御霊が私たちにその光を見失わないように忍耐を与えてくださいます。ならば、いつ主の日が来ても喜びを持って迎えられる心を日々備えながら、うめきの中でも栄光の日という光を待ち望みつつ歩んでまいりましょう。

## ● その時にならないと

～今週の声～

わかっていたはずでした。今週は、コロナの新規感染者が5千人、6千人、7千人と急激に増えて、金曜日には7千8百人と8千人に迫る勢いです。驚くことではありません。気温が下がり乾燥する冬は毎年季節性インフルエンザが流行ります。同じようにコロナも冬に感染の波が来ることはわかっていたはずでした。そして、その波が来たならば、どのように対策をすればいいのか、備えが必要でした。

ところが、残念ながら人間というもの、わかっているけどできないこと、やらないことというのは実に多く、先延ばしににして、まだまだと言っているうちにみな後手に回ってしまうことは少なくありません。その時になってはじめて動き出す。ノーマルタイヤで立ち往生するのも、雪が降ってからスコップを買いに走るのもみな同じです。

最も深刻なのはいのちに関わることです。ルカ12章には金持ちの畑が豊作で。「食べて、飲んで、楽しめ」と心で豪語した後に、「今夜おまえから取り去られる。おまえが用意した物は、いったいだれのものになるのか。」、続いて「自分のために蓄えても、神に対して富まない者はこのとおりです」と結ぶたとえ話がでできます。神の恵みによって生かされていることを忘れ、いのちの意味を失った人への警鐘です。その時になってからは遅いのです。

コロナであってもなくても、私たちのいのちの日には限りがあります。そして、突然お返ししなければならぬこともあります。その備えはできていますか。いつ、その時を迎えても大丈夫ですか。後悔なく平安に迎えられますか。中世の修道院では「メメント・モリ（死を覚えよ）」と挨拶を交わしたと言われます。今日という日、一日一日を主にあって最善を尽くし、感謝と喜びにあふれた日に、そして神を愛し、隣人を愛する喜びに生きる日として励まし合って進みましょう。

## ●聖書日課～みことばの光質問より～

### ●1/11 (月) 民数記4:21-49

ゲルシオン族、メラリ族の奉仕、続いてレビ人の奉仕の総計が記されています。その数8,580人、彼らは会見の天幕、つまり礼拝のための奉仕者です。私たちの礼拝に関する奉仕はどのようにあるべきでしょうか。

### ●1/12 (火) 民数記5章

ツアラアト、漏出を病む者、不信の罪、他人に対する罪に続き、夫婦の間のねたみの罪についてのどのように扱うかを教えています。人の目に隠れていることがどのように扱われるかについて教えられることはどんなことでしょうか。

### ●1/13 (水) 民数記6章

ナジル人の誓願について教えます。特別に神の御前に誓願をするとき、身をきよめます。新約を生きる私たちにその習慣はありませんが、特別に整えるべきことではないでしょうか？

### ●1/14 (木) 民数記7:1-23

幕屋を建て終わっての奉獻がこの章です。まず、族長たちは車と雄牛、それはレビ人の奉仕のためのもの、続いて一日ずつ、族長たちがささげものをします。穀物のささげ物、全焼のいけにえ、罪のためのいけにえ、和解のいけにえ。それを献げる思いはどのようなものでしょう。

### ●1/15 (金) 民数記7:24-41

続く部族も同じように献げます。彼らは族長として部族を代表して献げます。その部族に属する者たちはどのようにそれを覚えたのでしょうか。

### ●1/16 (土) 民数記7:42-65

続く、六日目から九日目までの3部族、これも前の部族と同じでした。繰り返されるささげもの、繰り返すには慣れや習慣化という弊害が起こりやすいもの、新しい思い、新鮮な思いで主に献げるために覚えるべきことではないでしょうか。

### ●1/17 (日) 民数記7:66-89

最後の3部族がささげものをし、その総計が記録されています。それを見ると、壮大なささげものの数になっています。それはこの幕屋礼拝のはじまりですが、これから後、繰り返すことは私たちが毎週毎週、ささげる礼拝に共通します。受けるのではなく、ささげるのが礼拝。思いを新たにしましょう。

## ●定期集会案内

日曜日	
教会学校	9:00
早天礼拝	7:00
主日礼拝	10:30
水曜日	
第一祈り会	10:00
第二祈り会	19:30
土曜日	
マナの会 (聖書通読会)	10:00

## ●礼拝ガイド

・主日と礼拝を主に献げましょう。主日を献げることは一週間のすべてを献げて整えることです。

・礼拝は前奏から始まります。5分前には着席し、心を備え整えて礼拝を始めましょう。

・献金は神への感謝・献身のしるしです。あらかじめ用意をして備えましょう。ご用意のない方、わからない方はそのまま献金箱を次の方にお回しください。

## ●今週の祈り

P65-66 富士見ヶ丘キリスト教会、西荻南イエス・キリストの教会、千歳烏山光の子聖書教会



## 今週のみことば

ローマ8:28 神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。



日本福音キリスト教会連合

宗教法人

甲府キリスト福音教会

# 週報

Vol. 67 No. 3 2021/1/17

- 牧師 松村 識
- 山梨県甲府市武田3-17-4
- TEL/FAX 055-253-4560 ●郵便振替 00400-8-4105
- http://kofu.church.jp ●e-mail kofucgc@ybb.ne.jp

神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。ローマ8:28

## ■礼拝順序

司会者 田中貴吏兄  
 奏楽者 志村泉兄  
 礼拝当番(下) 中原一真兄  
 音響・録音 黒田創兄

前奏		
招詞	詩篇55:22	旧 p.989
*讃美	教会福音讃美歌40番	
*交読	詩篇72篇	旧 p.1006
*信仰告白	教会信仰告白 第8条	
開祷		司会者
祈り		松村 識師
聖書	創世記37:1-11	旧 p.68
黙想		
宣教	「良くも兄弟、悪くも兄弟」	松村 識師
*讃美	教会福音讃美歌 405番	
感謝		中原一真兄
献金	教会福音讃美歌 452番	
報告		
*頌栄	教会福音讃美歌 271番	
*祝祷		松村 識師
*後奏		

\*印はご起立願います。体のご不自由な方はそのままどうぞ。

## ●報告・祈り

●1. 本日も分散礼拝を行いました。ネットでの礼拝参加など、場所は離れていても、一つ交わりであることを覚えましょう。自宅での礼拝をなさった兄弟は確認のためメールまたはLINEなどでお知らせ下さい。

●2. 本日より、礼拝の宣教では、創世記のヨセフ物語を続けて学びます。

●3. 今週、23日(土)14:00より、山梨県教会一致懇談会の祈祷会が愛宕町教会、甲府教会、カトリック教会の3会場に分散して行われます。

●4. 月報1月号を配布しました。次年度の行事予算案もありますので、目を通してくださるようお願いいたします。

●5. 次週主日は13:00より信徒会を致します。会堂のほかzoomでもご出席ください。別れての参加がしやすいように機械の工夫もしました。月報にありますセンター跡地の交換の件、次年度の行事予算案について話し合います。

●6. 次週主日は第4週ですので、教会連合の各種基金の献金をします。ご用意ください。

## ●次週礼拝予定

聖書箇所創世記37:12-35、宣教題「なんというタイミング」、交読文詩篇73篇、讃美49、-, 401、献金 452、頌栄 271-

## ●奉仕案内 (主日奉仕は次週のものです)

礼拝司会者	田中貴吏兄
礼拝当番上	-
下	宮本順子姉
掃除当番	丸山治久兄 丸山玲子姉
水曜聖研	松村牧師 イザヤ58章
奏楽者	渡邊羊子姉
証し	-
週報印刷	渡邊頌平兄
食事当番	-
看板当番	渡邊恵太兄
生花当番	菊川静恵姉
音響・スライド	富岡稔雄兄
スライド作成	金光正兄

## ●今週/今後の予定

●1/23 (土)

教会一致懇談会祈祷会 (3会場)

●1/24 (日)

信徒会

## ●先週の集会

	早天	主日	夕拝	小人	祈祷会
男	1	19	-	3	3
女	1	38	-	4	2
合計	2	57	0	7	5
CS					
その他	主日礼拝は会堂1F男1、女3,2F男7、女11				

## ●すべてのことが益とされる

～先週の宣教要旨～

ローマ8:26-37

「あしあと」という詩はよく知られ、多くの人の励ましとなってきました。「わたしは、あなたを決して捨てたりはしない。まして苦しみや試みの時に。あしあとがひとつだったとき、わたしはあなたを背負って歩いていた。」人生の困難は必ずやってきますが、「すべてのことが益とされる」とはどういうことでしょうか。

「神のご計画にしたがって召された人たちのためには」です。神は私たちにご計画を持っておられます。それは、私たちを召し、つまり、救いに導き、義と認め（義認）、栄光をお与えになる（栄化）というご計画です。つまり、神がうまくことを運んでくださるから、きつとうまくということではなく、よかった悪かった、プラスマイナスしてどうだとか、そんな私たちの基準をはるかに超えて、恵みによって、すべてを受け入れ、感謝と喜びに変えてくださるということなのです。

その恵みを受け取るには「神を愛する人々のためには」という条件があります。神が人に求めておられるのは「神を愛すること」、それは、神のみこころにお従いすることです。最後の晩餐でイエス様は栄光を現すことを祈りました。その栄光とは「世界が始まる前に一緒に持っていたあの栄光」、完全な愛と一致です。さらに、ゲッセマネの園では自分を捨てて愛を全うするための祈りをします。その足跡に従うことが求められているのです。

その道は決してたやすいものではありません。「しかし、これらすべてにおいても、私たちが愛してくださった方によって、私たちは圧倒的な勝利者です」のことは何と力強く響くことでしょうか。主は罪に打ち勝ち、死に打ち勝ち、よみがえって勝利したお方！このお方が、先の「あしあと」の詩のように、私たちが背負って歩んでくださる。そのお方がすべてのことをともに働かせて益としてくださるのです。その御前に私たちはどんなに困難があろうとも委ねる平安と感謝に導かれるのです。

## ●1分の1という命の重み

～今週の声～

コロナの感染の拡大が続き、病院の受け入れ体勢が逼迫しています。すでに救急車の搬送先が見つからない。本来、入院するべきところを待機し、自宅で亡くなる方が出てきている。そういう話も聞きます。そして、しばらくの間、そのような事態が続くでしょう。今週、朝日新聞の記事、長崎大熱帯医学研究所の山本太郎教授の記事に目が留まりました。氏は言います。コロナとの戦いは短距離なのかマラソンなのか、そして今どの辺りを走っているのか全くわからずみなコロナ疲れをしている。どのような終息のシナリオを目指すのか。政府は科学的知見に基づいた目標を示すべきだと。

そしてもう一つは、「二つの物語が進んでいます。一つはウイルスとの共生、社会経済との両立、集団免疫の獲得という大きな物語。もう一つは個別の物語。たとえば『祖母が感染して亡くなった』というものです。社会全体からみれば10万人に1人の死でも、家族にとれば大切な一人。起きた人には1分の1。医師としては、個別の物語に寄り添いたいとの思いをもちつつ、大きな物語を意識せざるをえない。」

数字の持つマジックとでも言うべきものがあることに気がつかされました。私たちは身近に罹患して苦しんだ人を実際に見ていないと、感染者数という数字に囚われます。そして、その数字の多さに気をとられてしまうのですが、数字には人格がありません。その背後には、1分の1という命の重みがあることを覚えておきたいと思うのです。

そして、神の目には「あなたがたのうちのだれかが羊を百匹持っていて、そのうちの一匹をなくしたら、その人は九十九匹を野に残して、いなくなった一匹を見つけるまで捜し歩かないでしょうか。」（ルカ15:4）とイエス様が言われるように、私たち一人一人に目を留めていてくださる。そのまなざしを大切にしたいと思います。

## ●聖書日課～みことばの光質問より～

### ●1/18 (月) 民数記8章

燭台の作り方、それに続いてレビ人のきよめについて教えられます。会見の天幕の奉仕をするレビ人、彼らは民のために礼拝の奉仕をするわけですが、まず、きよめられなければなりません。私たちの奉仕のあり方に教えられることはありませんか。

### ●1/19 (火) 民数記9章

過越のいけにえについての教え。それはささげても、ささげなくてもいいものではなく、欠かさずささげ(13)、また教えは一つ(14)。人の好き勝手に礼拝するのではなく、「神の方法」がその求められるところ。それは恵みを忘れないため。あなたの礼拝生活はどうですか。

### ●1/20 (水) 民数記10:1-10

前章の後半、雲と火によって、主の命令によって導かれますが、それにこたえて宿営が進むラッパの合図についての教えです。主のラッパの吹き鳴らされるとき、それに従うことが求められます。私たちに吹き鳴らされるラッパの音はどのようなときでしょうか。

### ●1/21 (木) 民数記10:11-36

彼らが進むとき、止まるとき、その度ごとにモーセは祈ります。あなたの歩み、それはどうでしょうか。祈り進み、祈りで終える、そのような毎日を歩んでいるでしょうか。

### ●1/22 (金) 民数記11:1-15

民の不平、激しい欲望、登録された者だけでも60万という民(2:32)を導くのは大変な務めでモーセは主に訴えます。あなたに与えられたものはどうでしょうか。どのように主に訴えますか。

### ●1/23 (土) 民数記11:16-35

主は欲望にかられた民にうずらを与えます。一方で、主は非常に激しい疫病で彼らを打ちます。このことがあなたに迫ることはどんなことですか。

### ●1/24 (日) 民数記12章

ミリヤムとアロンはモーセを非難します。主はこの二人をさばきます。主が立てられた権威や務めを私たちはどのように扱うべきでしょうか。

## ●定期集会案内

日曜日	
教会学校	9:00
早天礼拝	7:00
主日礼拝	10:30
水曜日	
第一祈り会	10:00
第二祈り会	19:30
土曜日	
マナの会(聖書通読会)	10:00

## ●礼拝ガイド

・主日と礼拝を主に献げましょう。主日を献げることは一週間のすべてを献げて整えることです。

・礼拝は前奏から始まります。5分前には着席し、心を備え整えて礼拝を始めましょう。

・献金は神への感謝・献身のしるしです。あらかじめ用意をして備えましょう。ご用意のない方、わからない方はそのまま献金箱を次の方にお回しください。

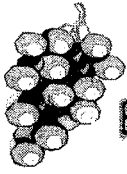
## ●今週の祈り

P67-68たんぼぼ教会、聖蹟めぐみキリスト教会、東村山キリスト教会、上水めぐみキリスト教会



## 今週のみことば

創世記37:4 ヨセフの兄たちは、父が兄弟たちのだれよりも彼を愛しているのを見て、彼を憎み、穏やかに話すことができなかった。



日本福音キリスト教会連合

宗教法入

甲府キリスト福音教会

# 週報

Vol. 67 No. 4 2021/1/24

- 牧師 松村 識
- 山梨県甲府市武田3-17-4
- TEL/FAX 055-253-4560 ●郵便振替 00400-8-4105
- http://kofu.church.jp ●e-mail kofucgc@ybb.ne.jp

神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。ローマ8:28

## ■礼拝順序

司会者 田中貴吏兄  
 奏楽者 渡邊羊子姉  
 礼拝当番(下) 宮本順子姉  
 音響・録音 富岡稔雄兄

前奏		
招詞	詩篇55:22	旧 p.989
*讃美	教会福音讃美歌49番	
*交読	詩篇73篇	旧 p.1009
*信仰告白	教会信仰告白 第9条	
祈り		松村 識師
聖書	創世記37:12-35	旧 p.69
黙想		
宣教	「なんというタイミング」	松村 識師
*讃美	教会福音讃美歌 401番	
感謝		宮本順子姉
献金	教会福音讃美歌 452番	一般・JECA諸基金
報告		
*頌栄	教会福音讃美歌 271番	
*祝祷		松村 識師
*後奏		

\*印はご起立願います。体のご不自由な方はそのままどうぞ。

## ●報告・祈り

●1. 本日も分散礼拝を行いました。ネットでの礼拝参加など、場所は離れていても、一つ交わりであることを覚えましょう。自宅での礼拝をなさった兄姉は確認のためメールまたはLINEなどでお知らせ下さい。

●2. 本日は第4週ですので、教会連合の各種基金の献金をしました。全国土地会堂協力基金、関東四地区土地会堂基金、全国宣教支援基金、東西関東地区宣教協力・教会支援基金、神学生支援基金の5つの基金が用いられるように祈りましょう。

●3. 本日は13:00より信徒会を致します。会堂のほかzoomでもご出席ください。月報にありますセンター跡地の交換の件、次年度の行事予算案について話し合います。

## ■役員予備選挙告示

2020年度の役員予備選挙を次のように行います。会堂に来られない兄姉には選挙用紙を送付し、郵送投票も受け付けます。・選挙期間：2021年1/31(日)～2/13(土)・選挙人および被選挙人等詳細は掲示板に掲示してあります。選挙管理委員：加藤美樹、古屋直之

## ■教会総会公告

2020年度の第二総会を次の通り行います。信徒会員の方はご出席ください。出席できない方は委任状を議長(牧師)宛ご提出ください。また、zoomでの出席も出席とします。

・日時：2月28日、13:00より14:30  
 ・議題：1. 2021年度行事案・予算案の審議、2. 2021年度役員本選挙。宗教法人甲府キリスト福音教会 教会役員会・代表役員・牧師 松村識

## ●次週礼拝予定

聖書箇所創世記38章、宣教題「恐れに縛られた不自由」、交読文詩篇74:1-11、讃美34、-, 262B、献金 452、頌栄 271聖餐式262a

## ●奉仕案内 (主日奉仕は次週のものです)

礼拝司会者	田中貴吏兄
礼拝当番上	-
下	宮田良子姉
掃除当番	五味操姉 渡邊園子姉
水曜聖研	松村牧師 イザヤ59章
奏楽者	志村泉兄
証し	-
週報印刷	川久保進兄
食事当番	-
看板当番	坂野喜好子姉
生花当番	川久保玲子姉
音響・スライド	中原一真兄
スライド作成	金光正兄

## ●今週/今後の予定

- 1/26 (火)  
教会連合広報委員会 (牧師・オンライン)
- 1/31 (日)  
礼拝後祈禱会
- 2/7 (日)  
聖餐式  
役員会

## ●先週の集会

	早天	主日	夕拝	小人	祈禱会
男	2	22	-	3	2
女	1	38	-	4	2
合計	3	60	0	7	4
CS	6				
その他	主日礼拝は会堂1F男2、女2,2F男10、女10、ライブ配信接続33、1/10ライブ配信接続33				

## ● 良くも兄弟、悪くも兄弟

～先週の宣教要旨～

創世記37:1-11

私たちに起こる出来事、それは偶然の積み重ねなのか、それとも神の摂理の中にあることなのか。それによってももの捉え方、生き方が変わります。神が御手をもって導いておられる。それを「摂理」と呼びますが、そうだとしたら、一つ一つの出来事には意味があり、神の問いかけ、それを通して導こうとしておられる意図があります。

さて、ヤコブの信仰のスタートは父の家を離れ、石を枕に寝たところで見た夢、天に向けられた梯子を御使いが登ったり下ったりしている夢を見たときからです。そして向かったラバンのもと、レアとラケルという二人の妻と二人の女奴隷という複雑な家族のもとに生まれたのが12人の息子たちです。子を産むことで愛されたいレア。夫に愛されながらも子どもが生まれないうラケルによろやく生まれたのがヨセフでした。

兄弟は簡単ではありません。親に認められたい、肯定されたい、そのまなざしを受けたい、そういう思いです。親は同じに接しているつもりでも実際にそうはいきません。ただでさえ複雑な生まれの兄弟たち、ヨセフは兄弟たちのことを父に告げ口し、父は父でヨセフだけを特別に愛します。兄たちは憎しみ嫉妬をかかえます。そしてそれを追い打ちをかける夢の話です。

この泥臭い、ひいきと嫉妬と渦めく憎しみ、優越感や劣等感。それを経験した者もどうにも繰り返してしまう愚かさ。もうこれ以上一緒にいられないからと言って、兄弟の間で切り離されていったら、神のお取り扱いをいただくことはありません。一方で、切っても切れない兄弟という仲で、良くも悪くも、あるいは親子、家族の中で、罪深い闇が神の取扱いをいただいて、赦しへと和解へと導かれて行ったとしたら。それは何ものにも代えがたい喜びであり、感謝です。あなたはどうでしょうか。

## ● 手の中に宝を持っている

～今週の声～

新年度の計画を立てる時期になりました。ところがコロナの見通しもまだ立たない中、どのように計画を立てたらいいのか、悩ましく思います。それは社会全体がそうです。昨年の今頃まで、教会連合の会議で代々木のオリンピックセンターをよく使っていました。するとオリンピックのボランティアの準備がほぼ毎日行われて、講習などが行われ、着々と準備が進んでいました。ところがそのすべてがストップ。

少しずつ準備も進めることもできない中、オリンピックなどできるのでしょくか。海外から選手や応援、観客を迎え入れることができるんでしょくか。準備に関わるデッドラインをいくつか決めて、プランA、プランB、プランCと用意がされているのでしょくか。それもすべてが流動的、徒労に終わりそうに思えます。関わった人たちというか、その役を引き受けざるを得ない人たちの労苦を思うと残念というか、そもそもモチベーションもわかない仕事になるでしょく。

では、教会はどうするべきか。状況に応じて柔軟に対応すること、その心備えが今できることなんだろうと思います。そして、教会にとって、命である礼拝をどんなかたちであつても忠実に守っていくこと、兄弟姉妹が励まし合い、祈り合う交わりを続けていくこと。そして、祈りつつ神の時を待つこと。今できることを続けて行きたいと思うのです。

今、願っても手に入らないならば、手の中にあるものを大切にしなければなりません。いやむしろ、今、手の中にあるものが大切な宝であること、神様がくださっている恵みを数えたいと思うのです。代々の教会はそれを告白しつつ歩んで来たのですから。

望みも消え行くまでに世の嵐に悩むとき、数えてみよ主の恵み、汝が心は安きを得ん

数えよ主の恵み 数えよ主の恵み  
数えよ一つずつ 数えてみよ主の恵み

(新聖歌172番)

## ●聖書日課～みことばの光質問より～

### ●1/25 (月) 民数記13:1-24

カナンの地の偵察、部族ごとに一人ずつ、12名が使われ、彼らは南から北まで探り、その地のたわわなぶどうの房、豊かな地を見ます。あなたが神に見せられている祝福はどのようなものですか。それを主はどうせよと言われますか。

### ●1/26 (火) 民数記13:25-33

偵察の結果はよい地でした。しかし、そこに住む者たちの強さを見たとき、二つに分かれます。カレブの勇気、一方で他の者たちは「攻め上れない」と言います。あなたはこれをどう見ますか。

### ●1/27 (水) 民数記14:1-25

民は落胆し、エジプトに帰ろうとまで言い出します。ヨシュアとカレブのことばにもかかわらず、民衆は否みます。これまでの主のみわざを見ながら否む。あなたがここにいたら、何と言ったでしょうか。どのようにしたでしょうか。今はどうですか。

### ●1/28 (木) 民数記14:26-45

モーセが神のことばを告げたとき、民はひどく悲しみ、カナンへ進もうとします。「主はあなたがたのうちにおられない」とは、何が問われたことだったのでしょうか。

### ●1/29 (金) 1テサロニケ1章

テサロニケの場所を地図で確認しましょう。使徒の17章を併せて読み、教会のはじまりの様子を確認しましょう。その上で、ここで語られていることをもう一度読み、味わってみましょう。

### ●1/30 (土) 1テサロニケ2:1-12

使徒17章にあるような苦難の中に始まったテサロニケの教会ですが、そこでパウロがどんな思いで働きをしてきたかが語られています。そこに学ぶこと、模範とすべきことはどんなことでしょうか。

### ●1/31 (日) 1テサロニケ2:13-20

パウロはテサロニケの教会の人こそ、私たちの誉れと言います。彼らが苦しみの中にあっても諸教会の模範として信仰を守り通したからです。その力の源、それは13節でどのように語られていますか。

## ●定期集会案内

日曜日	
教会学校	9:00
早天礼拝	7:00
主日礼拝	10:30
水曜日	
第一祈り会	10:00
第二祈り会	19:30
土曜日	
マナの会 (聖書通読会)	10:00

## ●礼拝ガイド

- ・主日と礼拝を主に献げましょう。主日を献げることは一週間のすべてを献げて整えることです。
- ・礼拝は前奏から始まります。5分前には着席し、心を備え整えて礼拝を始めましょう。
- ・献金は神への感謝・献身のしるしです。あらかじめ用意をして備えましょう。ご用意のない方、わからない方はそのまま献金箱を次の方にお回しください。

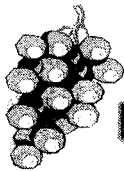
## ●今週の祈り

P70-71 上水めぐみキリスト教会、立川駅前キリスト教会、八王子福音キリスト教会、青梅キリスト教会



## 今週のみことば

創世記37:28 そのとき、ミディアン人の商人たちが通りかかった。それで兄弟たちはヨセフを穴から引き上げ、銀二十枚でヨセフをイシュマエル人に売った。イシュマエル人はヨセフをエジプトへ連れて行った。



日本福音キリスト教会連合

宗教法人

甲府キリスト福音教会

# 週報

Vol. 67 No. 5 2021/1/31

- 牧師 松村 識
- 山梨県甲府市武田3-17-4
- TEL/FAX 055-253-4560 ●郵便振替 00400-8-4105
- http://kofu.church.jp ●e-mail kofucgc@ybb.ne.jp

神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。ローマ8:28

## ■礼拝順序

司会者 田中貴吏兄  
 奏楽者 志村泉兄  
 礼拝当番（下）宮田良子姉  
 音響・録音 中原一真兄

前奏		
招詞	詩篇55:22	旧 p.989
*讃美	教会福音讃美歌34番	
*交読	詩篇74:1-11	旧 p.1009
*信仰告白	教会信仰告白 第1条	
祈り		松村 識師
聖書	創世記38章	旧 p.71
黙想		
宣教	「恐れに縛られた不自由」	松村 識師
*讃美	教会福音讃美歌 391番	
感謝		宮田良子姉
献金	教会福音讃美歌 452番	
報告		
*頌栄	教会福音讃美歌 271番	
*祝祷		松村 識師
*後奏		

祈祷会（会堂・zoom）

\*印はご起立願います。体のご不自由な方はそのままどうぞ。

## ●報告・祈り

●1. 本日も分散礼拝を行いました。ネットでの礼拝参加など、場所は離れていても、一つ交わりであることを覚えましょう。自宅での礼拝をなさった兄弟は確認のためメールまたはLINEなどでお知らせ下さい。

●2. 本日は礼拝後、会堂、zoomに別れて祈祷会を行います。参加くださり互いに祈り合ひましょう。

●3. 本日は祈祷会后、臨時役員会を行います。先週の信徒会を受けての会議です。よき導きが与えられるようにお祈りください。

●4. 本日より2/13（土）まで役員予備選挙を行います。選挙管理委員会（加藤美樹姉、古屋直之）の指示に従って祈りのうちにご投票ください。今回、礼拝堂に来られない兄弟には郵送にてご案内をお送りします。

●5. 砂川福音キリスト教会（北海道）の高橋茂雄元牧師（81歳）、大洗キリスト教会、大洗キリスト教会（茨城）で長く牧会なさった西田静子元牧師（93歳）が相次いで召天しました。教会とご遺族に慰めを祈りましょう。

## ●次週礼拝予定

聖書箇所創世記39章、宣教題「不幸を嘆かない秘訣」、交読文詩篇74:12-23、讃美42、-, 262B、献金 454 (1-2)、頌栄 272聖餐式262a

## ●奉仕案内（主日奉仕は次週のものです）

礼拝司会者	松村牧師
礼拝当番上	-
下	丸山治久兄
掃除当番	坂野次男兄 坂野喜好子姉
水曜聖研	川久保進兄 イザヤ60章
奏楽者	金戊京姉
証し	-
週報印刷	石山堅持兄
食事当番	- -
看板当番	渡邊恵太兄
生花当番	菊川静恵姉
音響・スライド	黒田創兄
スライド作成	金光正兄

## ●今週/今後の予定

- 本日  
礼拝後祈祷会  
臨時役員会
- 2/2（火）  
広報委員会（牧師zoom）
- 2/3（水）  
コロナ感染対策窓口（牧師zoom）
- 2/7（日）  
聖餐式  
役員会

## ●先週の集会

	早天	主日	夕拝	小人	祈祷会
男	1	21	-	3	3
女	2	37	-	4	2
合計	3	58	0	7	5
CS	6				
その他	主日礼拝は会堂1F男2,2F男10、女13、ライブ配信接続33				

## ● なんとというタイミング

～先週の宣教要旨～

創世記37:12-35

なんとというタイミングでしょうか。彼らにイシュマエル人の隊商が通りかかるタイミングは不思議です。シェケムで兄たちを見つけていたら、こうはなりません。ドタンにいるという話を聞かなければ、別の場所に探しに行くか、あるいは父のもとに帰ったかもしれません。少しでもズレていたら、ヨセフがエジプトに売られることはなかったでしょう。

そこに居合わせなかったのがルベンです。彼はヨセフを助けて父のもとに連れ戻そうとしていました。ところが、目を離した際に兄弟たちがヨセフを売ってしまったのです。しかし、彼は嘆きはすれど、何もしません。そして、彼らは父にウソをつきます。そして、一方で悲しむ父を慰めるのです。この様子を見て平気でいられるのでしょうか。あるいは兄弟間で口裏合わせていて、兄弟を裏切るわけにはいかないという闇の結束でしょうか。

兄弟たちは父親の悲しみを見て、あれはやり過ぎたと悔い改め、エジプトに探しに行くことだってできたはずです。しかし、彼らはウソをつき通します。父はことある毎に嘆き続けたことでしょう。その度、その度ごとに彼らは負い目を加えます。臭いものには蓋をするように、感情を押し殺すことは簡単なことではありません。ことに触れないようにすればするほど、折り重なっていく負い目は大きくなります。それは兄弟の中で、親子の中で、家族の中で、折りに触れては思い出される苦い負い目です。

すべては摂理のうちにことが導かれていくのです。やがてすべてが変えられる日がきます。負い目が和解と赦しに変えられる日がきます。「神のなさることは、すべて時にかなって美しい。神はまた、人の心に永遠を与えられた。しかし人は、神が行うみわざの始まりから終わりまでを見極めることができない。」(伝道者の書3:11)とあるように、神が備えてくださる時に変えられる日がくることを待ち望みながら、主の御前に歩んでいこうではありませんか。

## ● 教会のかしらはキリスト

～今週の声～

先週の信徒会では、意見が割れました。実際に割れたわけではなく、強い賛成の兄姉と強い反対の兄姉がいたわけです。2-6-2の法則をご存じでしょうか。人が集まるところ、物事を進めようとするときに、不思議とその割合になるというのです。積極的な2割、反対の2割、そして、残りの6割はどっちにも傾くという説です。確かに集団はそういう動きをすることが多くあるように思います。

世の中では、「多数決」というものの決め方をします。それでも、それを無理に押し進めようとする「強行採決」と強い批判を受けます。もっと審議を重ねるべきだ。説明を丁寧に繰り返すべきだ。そして、修正を加えて落とし所を見つける。見切り発車はできない。そして、決まったらそれに従う。それが民主主義です。

あるとき、一人の兄弟がこういう提案をしました。「教会の議決は全員一致とする」としたらどうか。割れる意見に心を痛め、一方で自らの中にも相容れない思いがあることを認めつつ、そう言うのです。理想論と言われるかもしれない。でも、教会はそうありたいと願う願いでした。ときに自説を「みことばに示された」と言う場合があります。本当に「みことばに示された」ならば、他の兄姉にも同じになるはず。気を付けなければなりません。

何よりも大切なことは「教会のかしらはキリスト」であることを肝に銘じてわきまえることです。教会は民主ではない。キリストがかしらなのです。そして、その御前にふさわしいか否かということがことを決めることよりも大切なのです。『ある人は「私はパウロにつく」と言い、別の人は「私はアポロに」と言っているのであれば、あなたがたは、ただの人ではありませんか。』(1コリ3:4) コリントの教会にパウロは言わなければなりません。私たちは弱さはあっても、互いが十字架で買い取られた尊い器です。

## ●聖書日課～みことばの光質問より～

### ●2/1 (月) Iテサロニケ3章

激しい迫害のテサロニケの教会を励ますために、また誘惑する者によって労苦の実がむだにならないためにテモテを遣わしましたが、むしろ信仰を堅く保つ教会に励ましを受けた、その喜びます。あなたは主にある労苦の実をどのように分かち合うべきでしょうか。

### ●2/2 (火) Iテサロニケ4章

いくつかの奨めのことばに続いて眠った人々のことについて教えています。迫害激しい中、彼らは主の再臨の時を待ち望んでいました。でもその前にすでに召された人たちはどうなるのか。そのことに対する教えです。

### ●2/3 (水) Iテサロニケ5:1-11

再臨と今のとき、それについて10節のように教えられています。

### ●2/4 (木) Iテサロニケ5:12-28

この手紙の最後の奨め、それは教会の交わりにおいて心得るべきこと、また、自分自身の信仰生活における確認事項です。あなたが改めて確認させられたことはどんなことですか。

### ●2/5 (金) 民数記15:1-21

特別な誓願をする、進んでささげる、そのようなときにいけにえを、それが一つの集會として、同一の教え、同一のさばきが教えられていること、教会におけることに適用できることはどんなことでしょうか。

### ●2/6 (土) 民数記15:22-41

もし誤って罪を犯した場合の許し、安息日に関するさばき、その違いはどこにあるでしょうか。主が求められることは私たちに当てはめて、どんなことでしょうか。

### ●2/7 (日) 民数記16:1-22

コラの子たちの分裂騒ぎ、そこに主が神罰をくだします。しかし、民はそれを見てつぶやき、再び神罰が下ります。このできごとがあなたに問いかけることはどんなことでしょうか。

## ●定期集會案内

日曜日	
教会学校	9:00
早天礼拝	7:00
主日礼拝	10:30
水曜日	
第一祈り会	10:00
第二祈り会	19:30
土曜日	
マナの会 (聖書通読会)	10:00

## ●礼拝ガイド

・主日と礼拝を主に献げましょう。主日を献げることは一週間のすべてを献げて整えることです。

・礼拝は前奏から始まります。5分前には着席し、心を備え整えて礼拝を始めましょう。

・献金は神への感謝・献身のしるしです。あらかじめ用意をして備えましょう。ご用意のない方、わからない方はそのまま献金箱を次の方にお回しくください。

## ●今週の祈り

p72-73 おざく台キリスト教会、青梅東宣教キリスト教会、奥多摩福音キリスト教会、大月福音キリスト教会



## 今週のみことば

マタイ6:10b みこころが天で行われるように、地でも行われますように。